

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート—核燃料サイクルへの疑問 (2013年2月13日)

GEPR編集部 · Tuesday, February 12th, 2013

今週のアップデート

原子力の論点、使用済核燃料問題についてのコラムを紹介します。

1) 「非在来型ウランの埋蔵量について」

アゴラ研究所の池田信夫氏の論考。日本の高速増殖炉計画は「ウランが世界で足りなくなる」ということを根拠に行われてきました。ところが今、世界で新しい形のウランが調達でき、ウランが数百年使い続けられる可能性が浮上しています。高速増殖炉は計画の根拠をなくしているとの指摘です。

2) 「核のゴミ、対策を考える時間はたっぷりある—NHK特集への疑問」

GEPR編集部のコラム。2月10日放送のNHKスペシャル「核のゴミはどこへ—検証・使用済核燃料」の批判的検証です。そしてそれにより世間に広がる核燃料サイクルへの思い込みへ示しています。

番組は放射性廃棄物問題について「解決はほぼ不可能」「結論を出さなければ原発を使うべきではない」というメッセージを出しました。その考えは、合理的ではないと、このコラムはまとめています。

3) 「効率的な街の功罪... 「省エネ」「低炭素」、コンパクト・シティの流行が切り捨てるもの」

GEPR編集部のコラム。省エネでコンパクト・シティという考えが流行していますが、効率化によって切り捨てられることも検証しようという呼びかけです。

4) 「気候変動交渉と通商交渉」

提携する国際環境経済研究所 (IEEI) のコラムの転載です。経産省で気候変動交渉にかかわり、今は日本貿易振興機構 (JETRO) のロンドン事務所長である有馬純氏のコラム。多国間交渉はいつも、同じ混乱の道を

たどるようです。

今週のリンク

1) 「原子力エネルギーの展望」

経済協力開発機構・原子力エネルギー機関（OECD・NEA）の2010年11月のレポートです。福島事故前のレポートです。原子力は地球温暖化とエネルギーの大量供給の為に有効な手段であると述べています。上記の池田氏の指摘のように、ウランの利用可能年数が、新しい技術を使えば、伸びる可能性を指摘しています。

2) G1サミットセッション「福島で考えるエネルギーの未来

」。ニコニコ生放送2月9日配信。池田信夫アゴラ研究所所長に加え、河野太郎衆議院議員、澤昭裕国際環境経済研究所所長が、日本のエネルギーについて、語り合いました。原発への考えは違うものの、核燃料サイクル問題の採算性への疑問など、多くの一致点もありました。対話の可能性がります。

3) 「原子力 北欧の選択（1） フィンランド 過疎地に雇用—最終処分静かな賛成」

河北新報の2月11日記事。「

原子力 北欧の選択（2）フィンランド 規制機関への評価 / 高い独立性 国民の信頼」冷静に問題に向き合う。原子力問題で反対派も含めて冷静な議論を北欧が積み重ねていることの紹介記事です。

4) 「原子力規制委 全員の所信聴取が必要だ」

産経新聞2月11日社説。原子力規制委員会の国会同意人事で、委員の所信の検証が必要と言う指摘です。活断層をめぐる混乱は、一部委員のかたくなな姿勢によるものとされます。この社説は正論です。

5) シンポジウム「

東京電力福島第一原子力発電所事故における初期内部被ばく線量の再構築」」。放射線医学総合研究所が行ったシンポジウムの講演の要旨集。住民への測定の教訓などが盛り込まれています。

6) 「LNG高騰が招き寄せる製造業の復活」

日本経済新聞2月10日記事。天然ガス産出国になり、通貨高と産業空洞化を招いたオランダと対比しながら、製造業が円安で息をついた日本の今後を展望しています。

This entry was posted on Tuesday, February 12th, 2013 at 5:00 pm and is filed under [アップデート](#), [コラム](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.

